

山口県立大学のデザイン×大内文化 2種類の椀をお披露目！

「大内人形椀」「山口椀・令」メディア向け発表会

ポイント

- 👉 大内人形マトリョーシカに続く、大内塗漆器の新商品シリーズ第2弾
- 👉 高齢者や、手の不自由な方でも持ちやすい「ユニバーサルデザイン」
- 👉 椀の底にある「高台まわり」のデザインにこだわって制作

このたび、本学の地域デザイン研究所と大内塗漆器振興協同組合、山口市との連携により開発された新商品「大内人形椀」と「山口椀・令」を発表します。これは、5月30日に発表した「大内人形マトリョーシカ」に続く新商品シリーズの第2弾となります。是非、取材のご検討をお願い申し上げます。

- ①「大内人形椀」… 大内人形としても、椀としても楽しめる子ども椀。
お椀の材料となる木地の一部には、学生が制作したものも。
- ②「山口椀・令」… 「大内菱」をイメージして制作。現在、山口県立萩美術館・浦上記念館にて開催中の「山口県と伝統工芸 1—漆工・染色・和紙—」にて展示中。

「大内人形椀」「山口椀・令」発表会について

【日 時】 7月30日（火） 14：00～15：00

【場 所】 山口ふるさと伝承総合センター
みやび館（山口市下堅小路12番地）

【出席者】 山口県立大学地域デザイン研究所

山口 光 所長

大内塗漆器振興協同組合

富田 潤二 理事長

中村 建 氏

中村 理恵 事務局長



大内人形椀



山口椀・令

【「大内人形椀」、「山口椀・令」に関するお問い合わせ】

〒753-8502 山口市桜島3丁目2-1

山口県立大学地域デザイン研究所 所長 山口 光（やまぐち ひかる）

TEL&FAX：083-928-2557（研究室直通） Email：hyamaguchi@yamaguchi-pu.ac.jp

【本件ニュースリリースに関するお問い合わせ】

経営企画部企画グループ 担当：新造（しんぞう）

TEL：083-928-3417 FAX：083-928-3464 Email：rshinzo@office.yamaguchi-pu.ac.jp

①大内人形椀

- ・ 大内人形は元々、古来のお椀（漆絵枝菊椀・うるしええだぎくわん）を元に考えられた「お椀から生まれた人形」です。そのルーツを考えると「大内人形とお椀」の中間となる漆器があっても良いと考えました。
- ・ 子どもらしさが表現された、かわいらしい子ども椀。
使用時には普通のお椀ですが、ひっくり返すと人形になります。
「サインの代わりに人形の顔」が描かれている人形です。
- ・ 大内人形椀の木地には、文化創造学科4年生の金子祐樹さんが制作したものがあります。
木地挽きに積極的に取り組んでおり、現在は山口市内の工房で技術を磨いています。



大内人形椀：使用時



大内人形椀：裏



生地挽きに興味を持ち、制作に積極的に取り組む
文化創造学科4年 金子さんが制作した木地も。

②山口椀・令（れい）

- ・ 江戸時代頃、日常の器と言われていた「山口椀」のイメージを元にしました。「日常使い」を重視したお椀です。
- ・ 「大内菱」のイメージを元として、機械加工でしか実現できない形（多面体）を意識してデザインしました。有限会社鳳山堂の技術によって、持ちやすい形状を実現しました。
- ・ 山口県立萩美術館・浦上記念館で開催中の「山口県と伝統工芸 1—漆工・染色・和紙—」にて展示中です（7月9日～9月8日）。大内塗の歴史では、同美術館に展示されることは初となります。



山口椀・令